

第七町内会だより

令和2年度
第2回役員会を開催

過日10月26日(月) 17時より北郷会館一階ホールにてコロナ禍のなか三密に気を付け、7月に続き今年2回目の役員会を開催しました。

令和2年度に入ってから「子どもラジオ体操」以外の主な行事がことごとく中止となり、この日の議題に入っていた「餅つき大会」も後日中止が決定するなど、12月に入ってから北海道・札幌におけるコロナ感染の状況が「ステージ4」にまで上がったため、不要不急の外出も制限されるに至り、感染の凄まじさを実感する日々が続いています。

その中でも町内環境の改善に向けて「ゴミステーションの増設」や「街灯のLED化への更新」などの実施報告やその他



参加者の三密に気を付け協議をしました

「第2回役員会の議題」

- ① 高齢者の見守り、災害時支援活動について～今後対象者25人への支援体制を見直します
- ② 餅つき大会の実施～その後中止が決定
- ③ 北郷会館避難所運営訓練～11月15日(日)に感染対策も含め指定避難所運営訓練を行いました
- ④ 会計中間報告
- ⑤ ゴミステーションの増設と廃止(実施報告)～6月11カ所をゴミBOXに交換、10月3カ所のゴミBOXを新設、1カ所のゴミステーションを廃止(産直駐車場)・・・来季も実施します
- ⑥ 冬まつりの開催について～1月に共催する第3町内会役員と協議します
- ⑦ 来季役員について～今期末4月に役員改選となるためコロナ禍における人材の拡充を図ります
- ⑧ その他

の議題など左記の内容で話し合われました。

令和2年12月
発行人 鈴木 勝博
編集人 田中 啓二

先日21日に日本医師会、日本病院会、日本看護協会など医療9団体が異例の緊急合同会見を開き「**医療の緊急事態宣言**」を発表しました。医療現場では必死の努力で対応に苦慮しながらも「**これ以上感染者が増えては我々の努力が全く報われない!**」移動制限や行動規制の政策を実行して欲しい!との悲痛な内容でした。感染リスクが高まる「**5つの場面**」とは!

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に数居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

